

# 峰山学園保幼小中一貫教育だより

## 【 令和6年2月 地域版 】

発行: 峰山学園事務局  
連絡先: 0772-62-0359  
FAX: 0772-62-7987  
Mail: mineyama-jhs  
@Kyoto-be.ne.jp

峰山学園教育目標: 自己肯定感を持ち、自分の将来を展望し、共に学ぶ子の育成  
目指す子ども像: ◇意欲を持って自ら学ぶ子 ◇思いやりのある子ども ◇進んで心と体を鍛える子ども

### 年度末！！ まとめの時期に入っています

2月はインフルエンザ、コロナ等の感染症が各校で猛威を振るいました。学級閉鎖を余儀なくされた学校もあり、感染対策に神経を使いながら過ごす日々となりました。そのような中でしたが、季節感を大事にした行事や、節目を大事にした行事など、様々な活動が学園内で展開されました。進級・進学が待ち遠しい春がもうそこまでやってきました。

#### ゆうかり子ども園: 節分行事



やっつけたい鬼をクラスで発表した後に赤鬼・青鬼が登場。鬼をやっつけようと新聞を丸めた豆を投げつけ鬼退治です。勇敢に立ち向かいます。

#### 峰山こども園: 節分行事



縦割りのチームに分かれての節分行事。自分で作った衣装や鬼のお面を付けて集いました。5歳児が会の流れを計画、進行を務めました。

#### 峰山小学校: 体験入学



5歳児が小学校を訪れ学校の雰囲気を感じました。1年生が終始お世話しました。一緒に遊んだり手作りプレゼントを渡したりしました。

#### いさなご小学校: 大縄大会



2月8日に延期になっていた大縄大会を実施。チームを2つに分けて行い、待機チームが熱い声援を送る中、心一つに記録を目指しました。

#### しんざん小学校: 体験入学



5歳児が体験入学でしんざん小学校へ。電子黒板で学校の様子が紹介されました。校舎巡りをして1・5年生とも交流しました。

#### 長岡小学校: 体験入学



5歳児が1年教室で鉛筆の持ち方やおもちゃ作りを体験しました。1年生が作り方を教えるなど優しくお世話してくれました。

#### 峰山中学校: 立志式



2月3日の参観日に2年生の「立志式」が行われました。これまでの14年を振り返り、これからの目標とする漢字一文字に込めた「志」を発表しました。

### 園小の段差解消に向けて ～「親のための応援塾」～

小中学校への入学を控えた保護者にとっても「入学」に対する不安は大きいものです。多くの小学校では入学説明会の際に「親のための応援塾」を開催し、保護者の学校生活に対する不安を解消する機会を設けています。峰山町家庭支援チームのファシリテーターの方に進行役をお世話になり、先輩保護者からの話やアドバイスを聞いたり悩みを相談したりする機会を設けています。新しい環境に身をゆだねる時は心配や不安が伴います。そんな時は、誰かが寄り添ってくれる、そんな学園を目指しています。



# 峰山学園「年度末研修会」を行いました

2月14日（水）に峰山中学校を会場に「峰山学園年度末研修会」が開催されました。学園の教職員が一堂に会し、中学校1・2年生の授業を参観しました。生徒はやや緊張しながらも普段通りに授業を受けていました。峰山中学校では「主体的・対話的で深い学び」を実現する学びを各教科で目指しています。グループで交流したり考え合ったりする場面がどの学級にも取り入れられていました。ICTを効果的に活用しながら授業が進められている場面も見られました。中学校の授業の様子から、一貫教育の「指導の一貫性の重要性」を確かめることができました。公開授業の後は、全体会で峰山学園の年間まとめを行い、その後、事後研究会（授業展開や指導、生徒の様子等の感想交流）を行いました。

園小中の教員が峰山学園の年間の活動状況、取組の成果と課題を共有し、次年度の方向性等も考え合う研修会となりました。

## 1年生の授業風景

1年1組:英語



教材文の会話文から相手に返答する言葉を考え、英語で表現しました。

1年2組:国語



教材文から登場人物の心情を捉え、思いの深さを読み取り、考え合いました。

1年3組:数学



お得なアイスはどっち？身近なソフトクリームを題材にしてアイスの体積を求めました。

## 2年生の授業風景

2年1組:数学



確率の学習で「くじ引きの当たりやすさ」を樹形図や表を使って考えました。

2年2組:英語



教材文の音読練習をタブレットを使って練習しました。グループでも確かめ合いました。

2年3組:理科



電流の働きを学習しました。実験の結果をふまえ、電球の明るさの違いを考えました。

学園が目指す『意欲を持って自ら学ぶ子ども』の姿を中学校の授業でも見ることができ、成果を確かめることができました

## 全体会



学園アンケート結果から見てきた成果と課題、各部からの年間の活動報告、成果と課題を踏まえたまとめが報告されました。

## 事後研



園小中の教員が授業について、授業で困っている子への支援、10年後を見据えた子ども像について等を熱心に論議しました

峰山学園は京丹後市が進める「小中一貫教育」の取組を開始してから今年度で10年目の節目を迎えました。10年間の歩みにおける成果と課題を踏まえた上で、今後の10年を見据え「学園の子ども達にどんな力を付けなければならないか」も協議しました。子どもを主語におき、子どもの主体性を育むために、園小中の教員が同じ土俵で真剣に考え合う貴重な時間となりました。「連携」から「協働」へと、大きく舵を切った歩みができたと10年間だったと言えます。